

SONY®

FM/AM コンパクトディスク プレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らない
と、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



CDX-C7200

© 1998 by Sony Corporation



警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書と別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- ・運転者は走行中に操作をしない。
- ・車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

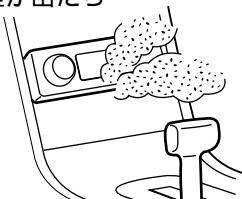
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線が外れていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠️ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠️ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたことがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

△警告・△注意 4

▶ 準備

まず、本機をリセットする 7
SHIFTボタンについて 8
時計を合わせる 9
放送局を自動で登録する 10

▶ ここだけ読んでも使えます

CDを聞く 11
ラジオを聞く 16

▶ CD

いろいろな聞きかた 18
聞きたい曲を好きな順番で聞く
(プログラム) 20
プログラムを変える 24

▶ ラジオ

特定の放送局を登録する 27
放送局に名前をつける 28
放送局を名前で探す(リスト) 30

▶ その他の操作

ロータリーコマンダーの操作 31
音質や音のバランスを調節する 33
音や表示などの設定を変える 34

付録

システム接続をするときのご注意 62
使用上のご注意 63
各部のなまえ 66
故障かな? 68
保証書とアフターサービス 71
主な仕様 72
索引 73

別売りの機器を接続すると

▶ CD/MD

機器内のCD/MDを聞く 35
聞きたいディスクを選ぶ 36
繰り返し聞く(リピート) 36
曲順を変えて聞く(シャッフル) 37
CDに名前をつける(ディスクメモ) 38
CDの聞きたい曲だけを選ぶ(パンク) 40
ディスクを名前で探す(リスト) 42

▶ DSP

サラウンド効果を選ぶ 43
サラウンド効果の反射音・残響音を
調節する 44
CDごとにサラウンド効果を登録する
(DSPカスタムファイル) 45
リスニングポジションを選ぶ 46
前後のスピーカーバランスを調節する 48
サブウーファーの音量を調整する 48
低音・高音の音量を調節する 50
前回と同じサラウンド効果で聞く
(ラストサウンドメモリー) 51
ラインアウトのレベルを選ぶ 51

▶ テレビ・ビデオ

テレビを見る 52
ビデオを見る 53
ラジオ局・テレビ局の一覧を見る 54
CD/MDの情報を見る 55
テレビやビデオを見ながらCD/MDの音を
聞く(サイマルプレイ) 56

▶ 携帯電話

電話をかける 57
電話を受ける 58
その他の操作 59
その他の設定 60
ロータリーコマンダーでの操作 61

準備

使
こ
え
だ
ま
す
ん
で
も

CD

ラ
ジ
オ

そ
の
他
の
操
作

CD/MD

DSP

テ
レ
ビ
・
ビ
デ
オ

携
帶
電
話

付
録

警告



火災



感電

下記の注意を守らないと火災・
感電により死亡や大けがの
原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となることがあります。また、取り付ける場所が助手席用エアバックシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



下記の注意を守らないとけがをしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはまれ、けがの原因となることがあります。



はじめに

本機では、CDとラジオを聞くことができます。ロータリーコマンダーも付属していて、お手元で簡単に操作することができます。

別売りの機器をつないだ場合も本機のボタンで操作できます。以下の機器が組み合わせられます。

- CD機器、MD(ミニディスク)機器
カスタムファイル機能がCDチェンジャーおよびMDプレーヤーで可能、プログラム機能がプログラム演奏機能付きCD/MD機器で可能。
- テレビチューナー、ビデオ
- デジタルプリアンプ
- FM文字多重放送ディスプレイユニット
- グラフィックイコライザー付DSP
- グラフィックイコライザー付MDプレーヤー
- 携帯電話用ハンズフリーキット

安全運転のためのボイスガイド

本機にはボイスガイド機能が装備されています。

ボイスガイド機能を使うと、ボタン操作をするたびにその操作に関するコメントが音声で流れるので、前方から視線をそらさず操作の確認ができます。

ボイスガイドの機能について

- 別売りのパワーアンプを接続した場合、機種によっては音声コメントのはじめの部分がとぎれことがあります。また、別売りのMD機器を接続した場合、2枚目のMDの音声コメントのあとに1枚目のMD演奏が短い間続くことがあります。
- 次の別売り製品を接続すると、ボイスガイド機能は働きません。

DSPコントロールユニット XDP-U50D

DSPコントロールユニット XDP-U50DMk2

グラフィックイコライザー付DSP XDP-600EQまたはXDP-210EQ

この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、別売りのCD/MD機器、XDP-U50D、テレビ、ビデオ、または携帯電話を接続した場合の操作方法についても説明しています(35ページ~)。

まず、本機をリセットする



初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、リセットボタンをボールペンの先などで押す。

ご注意

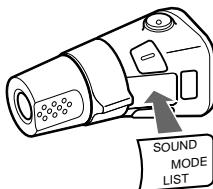
- リセットボタンを押すと、時刻の他、登録した内容で消えるものがありますので、登録し直してください。
- リセットボタンを押してから10秒間はCDを入れないでください。リセットされないことがあります。その場合は、もう一度リセットボタンを押してください。
- ACCポジションのある車でお使いの時(本機のパワーセレクトスイッチが④の位置の時)にリセットボタンを押すと、自動的にデモンストレーションが表示されます。この場合は、各ソースボタンを押して、本機の電源を入れてください。デモンストレーション表示は解除され、次にリセットするまで表示しなくなります。

SHIFTボタンについて

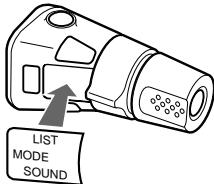
本機を操作するとき、SHIFTボタンを押すと、1~10のボタンは、上に機能表示が出て各機能の操作ボタンに変わります。

各設定等を行った後はSHIFTボタンを押してもとに戻します。

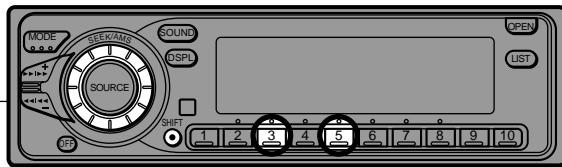
ロータリーコマンダーのシールについて



本機には、ロータリーコマンダーが付属しています。
ロータリーコマンダーの取り付けについては別冊の説明書を、操作については「ロータリーコマンダーの操作」(31ページ)をご覧ください。
ロータリーコマンダーを取り付けた向きに合わせて、シールを貼ってください。



時計を合わせる

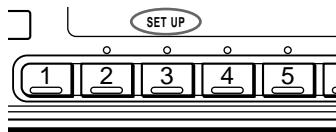


1 車のイグニッションキーをONにする。

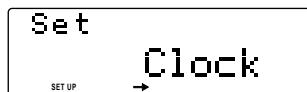


2 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示する。

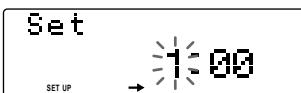
SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示がでます。



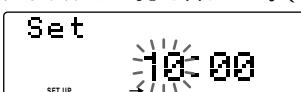
3 数字ボタン3(SET UP)を押す。



① 数字ボタン5(→)を押す。



② ダイヤルで「時」を合わせる。(時計は12時間表示)



③ 数字ボタン5(→)を押す。



④ ダイヤルで「分」を合わせる。

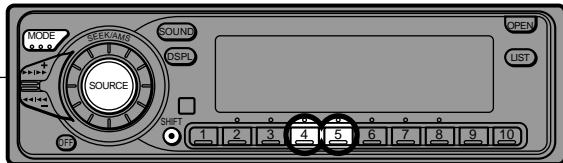


⑤ SHIFTボタンを押す。



4 最後に、SHIFTボタンを押す。

放送局を自動で登録する



受信できる放送局を数字の1～10ボタンに自動的に登録します。FMまたはAMのバンドでそれぞれ10局ずつ登録できます。テレビ放送(1～3チャンネル)は、FM90.0MHzの次にあります。



1 SOURCEボタンを押してラジオに切り換える。



2 MODEボタンを押して登録したい放送局のバンド(FMまたはAM)に切り換える。



3 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。



4 数字ボタン4(PLAY MODE)を繰り返し押して「B.T.M」を表示する。



5 数字ボタン5(→)を押す。

「B.T.M」(ベストチューニングメモリー)と表示され、選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に数字ボタンに登録されます。



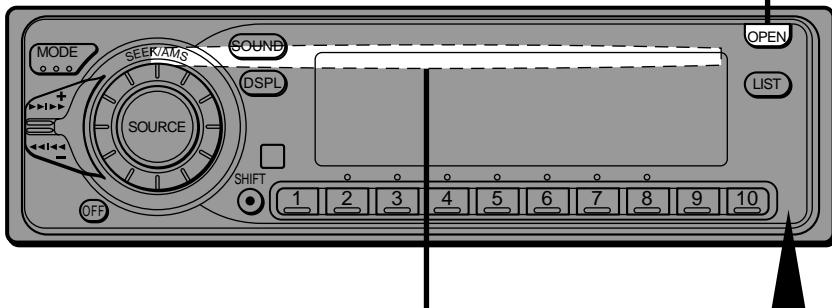
6 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意

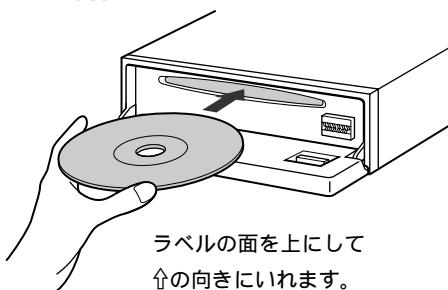
- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されているときは、それ以降の数字ボタンに放送局が登録されます。

CDを聞く

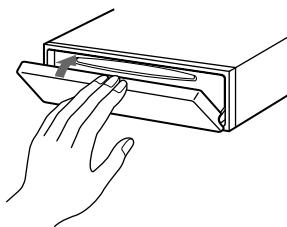
1 フロントパネルを開ける



2 CDを入れると再生が始まる



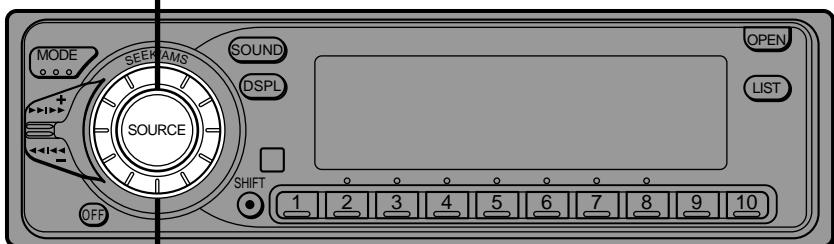
3 フロントパネルを閉める



次のページへつづく

CDを聞く(つづき)

CDが入っているときに押して
「CD」を選ぶと再生が始まる
(ソースSOURCEボタン)



音量を調節する

* 本機は電話使用時やナビゲーションの案内音声があるときに音楽の音量を自動的に下げます(ATT機能)。ただし、ATTまたはミュート出力コードの付いたカーナビゲーションシステムを接続した場合です。VOLダイヤルで音量を上げると解除されます。

8cmCDについて

本機では8cmCDをアダプターを使わずに再生できます。

ご注意

8cmCDにシングルアダプターを付けてディスクを再生すると、故障の原因となりますので使用しないでください。

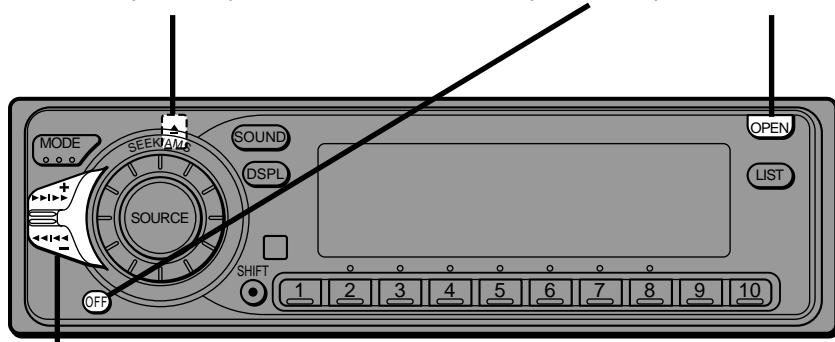
CDを取り出す*

(△ボタン)

止める / 電源を切る

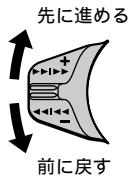
(OFFボタン)

フロントパネル
を開ける



聞きたいところを探す

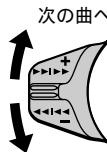
シーケ/エーエムエス
(SEEK/AMSつまみ)



上下に押しつづけ、聞きたいところで
離します。

曲の頭出しをする

シーケ/エーエムエス
(SEEK/AMSつまみ)

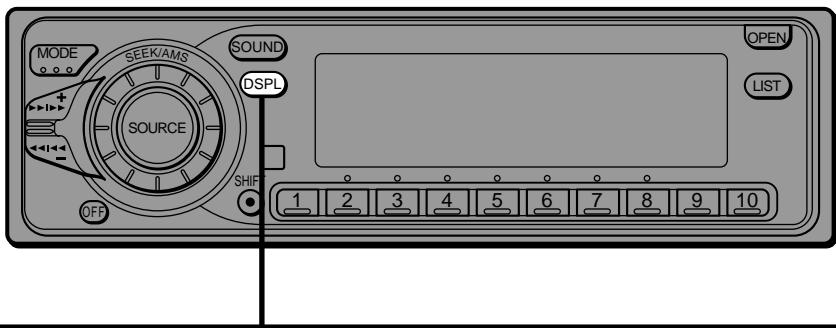


とばしたい曲の数だけ短く押します。

* △ボタンを押した後、挿入口にCDが15秒以上差し込まれたままになっていると、ディスク保護のため自動的にディスクを引き込み停止状態になります(セルフストア機能)。

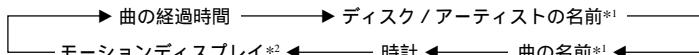
次のページへつづく

CDを聞く(つづき)



表示の見かた (ディスプレイ DSPLボタン)

(DSPL) 再生中にDSPLボタンを押して表示を切り替えます。

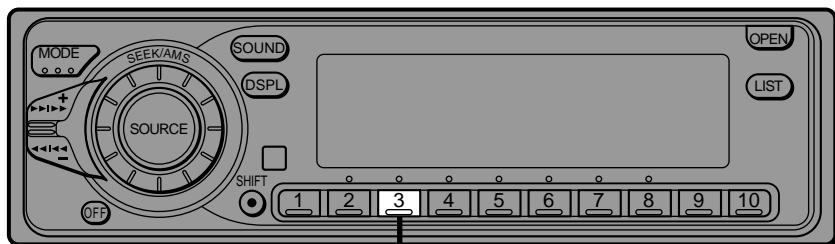


*¹ CD TEXTディスク以外のCDを再生したとき、または名前を登録していない場合は、「NO D.Name」または「NO T.Name」と表示されます。

*² 曲の経過時間、ディスク / アーティストの名前、時計を順に繰り返し表示します。

CD TEXTディスクに記録されているディスク名 / アーティスト名、曲名などはアルファベットと数字のみ表示できます。

11文字以上のディスク名、または曲名をもう一度見たいときはSHIFTボタンを押してから数字ボタン2(←)を押します。



11文字以上のディスク名を自動的にスクロールさせるには (CD TEXTディスクのみ)

CD TEXTディスク内に11文字以上の名前がついている場合、次のように名前を自動的にスクロールします。

- ディスクを入れる。
 - SOURCEボタンを押して「CD」に切り換える。
 - DSPLボタンを押して曲名またはディスク名に切り換える。
- 1 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示させます。
 - 2 数字ボタン3(SET UP)を押して「A.Scrl」を表示させます。
 - 3 数字ボタン5(→)を押して「A.Scrl on」表示にします。
 - 4 最後に、SHIFTボタンを押します。
- ふつうの表示に戻すには、手順3で「A.Scrl off」表示にします。

ご注意

極端に文字数が多く入っている場合、次のようなことがあります。

何文字かが表示されない。

自動的にスクロールされない。

ラジオを聞く

1 ラジオに切り換える



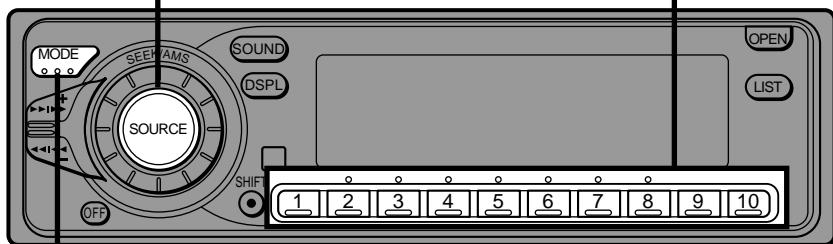
3 聞きたい放送局のボタンを押す(放送局を登録してあるとき)



登録のしかたについては、10ページ参照。

ご注意

SHIFTボタンが押されていて、数字ボタンの上に「SET UP」および「PLAY MODE」表示が出ているときは、数字ボタンで選択はできません。この場合は、SHIFTボタンを押して表示を消してから操作してください。



2 聞きたいバンドに切り換える



押して「FM」または
「AM」を選びます。

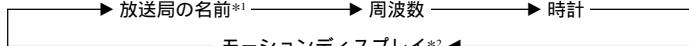
FM放送局が混信するとき

受信している周波数の近くにほかの放送局があり、混信するときに設定します。音質を優先するときは「Wide」、混信を防ぐときは「Narrow」にしてください。通常は「IF Auto」にしておくと自動で「Wide」と「Narrow」が切り換わります。

- 1 FM受信中にSHIFTボタンを押す。
- 2 数字ボタン4(PLAY MODE)を繰り返し押して、「IF Auto」を表示させる。
- 3 数字ボタン5(→)を押して設定を変える。
- 4 最後にSHIFTボタンを押す。

表示の見かた (DSPLボタン)

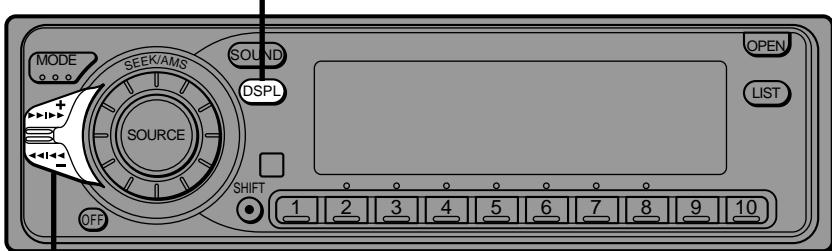
DSPLボタンを押して表示を切り替えます。



^{*1} 名前を登録していないときは「NO Name」と表示後、周波数表示になります。

ボタン操作のあと、表示切り替えが遅れることもあります。

^{*2} 周波数、放送局の名前、時計を順に繰り返し表示します。



旅先などで、登録した局が受信できないとき (自動選局を使う)

SEEK/AMSつまみを上下に短く押して離します。自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信されるまで、繰り返しつまみを上下に押します。



- 聞きたい局がわかっているときは、その局の周波数になるまでSEEK/AMSつまみを上下に押したままにします。
 - 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信になると、比較的電波の強い局だけを受信します。
- 1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。
 - 2 数字ボタン4(PLAY MODE)を押してMonoを表示する。
 - 3 数字ボタン5(→)を押して「Mono on」を表示する。
 - 4 最後に、SHIFTボタンを押す。

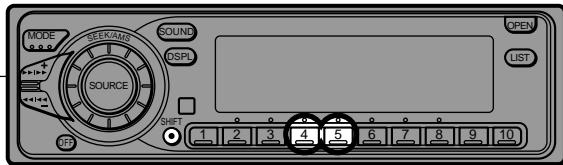
ふつうの受信に戻すには、手順3で「Local off」を選びます。

ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送を受信すると「ST」と表示されます。放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

- 1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。
- 2 数字ボタン4(PLAY MODE)を押してMonoを表示する。
- 3 数字ボタン5(→)を押して「Mono on」を表示する。
- 4 最後に、SHIFTボタンを押す。

いろいろな聞きかた



聞きたい曲を選ぶ(イントロ)

ディスクの全曲を最初の10秒ずつ再生して、聞きたい曲を探すことができます。



- 1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示ができます。「SET UP」、「PLAY MODE」など)



- 2 数字ボタン4(PLAY MODE)を押してIntroを表示する。

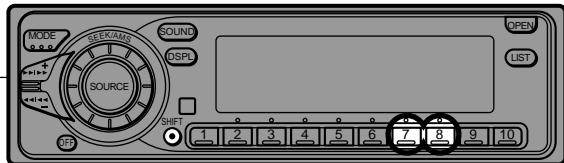


- 3 数字ボタン5(→)を押して「Intro on」表示にする。



- 4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ひとつうの再生に戻すには、手順3で「Intro off」表示にします。



CD

繰り返し聞く(リピート)

1曲のみを繰り返し聞くことができます。



1 SHIFTボタンを押して「REP」を表示する。



2 数字ボタン7(REP)を繰り返し押して「Repeat 1」表示にする。



3 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順2で「Repeat off」表示にします。

曲順を変えて聞く(シャッフル)

再生中のディスク全曲の曲順を変えて聞くことができます。



1 SHIFTボタンを押して「SHUF」を表示する。



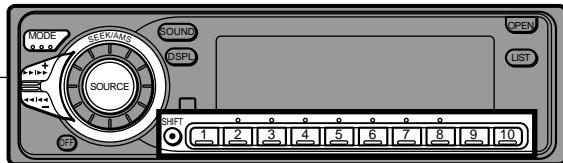
2 数字ボタン8(SHUF)を繰り返し押して「Shuf 1」表示にする。



3 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順2で「Shuf off」表示にします。

聞きたい曲を好きな順番で聞く



ディスクの中から好きな曲だけを集めてオリジナルのプログラムを楽しめます。プログラムは、2種類組むことができ(PGM1とPGM2)、それぞれのプログラムで聞きたい順番に12曲まで登録できます。一度登録したディスクは、ディスクを入れ換えるも、最初に指定した順番のまま再生されます。別売りのMD機器を接続すると、CDとMDを混在させてプログラムすることができます。

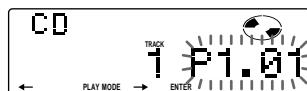
プログラムを登録する



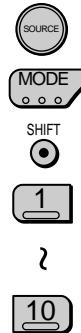
- 1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。
- 2 数字ボタン4(PLAY MODE)を2秒以上押す。

ディスクメモをつけたCDを再生するとパンク表示(40ページ)が出ます。その場合は、数字ボタン4(PLAY MODE)をもう一度押してください。

PGM1の表示



PGM2に登録したいときは、数字ボタン5(→)を押して「P2」表示にします。



- 3 SOURCEボタンを押してCDまたはMDを選ぶ。
- 4 MODEボタンを押して機器を選ぶ。
- 5 SHIFTボタンを押して数字ボタンでディスクを選ぶ。

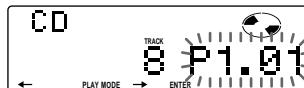


6 SHIFTボタンを押す。



7 SEEK/AMSつまみを上下に押して登録したい曲を再生する。

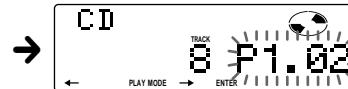
8曲目をPGM1の1番目に登録するとき



ENTER



8 数字ボタン6(ENTER)を短く押して登録する。



PLAY MODE



9 手順7と8を繰り返し、聞きたい順番に登録する。

10 数字ボタン4(PLAY MODE)を2秒以上押す。



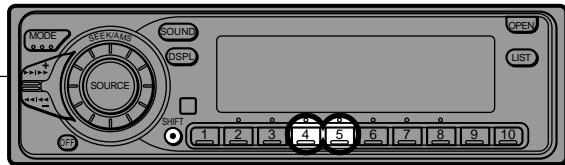
11 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意

- 「*Wait*」: 登録した曲の情報を読み取っていない場合に表示されます。
- 「*Mem full*」: 13曲登録しようとすると表示されます。
- 「PGM」設定にすると、イントロ・リピート・シャッフル機能は解除されます。

次のページへつづく

聞きたい曲を好きな順番で聞く(つづき)



プログラム

プログラムを聞く



1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。



2 数字ボタン4(PLAY MODE)を押してPGM表示にする。



3 数字ボタン5(→)を押して聞きたいプログラムに切り換える。

表示 再生

PGM1 プログラム1を再生する

PGM2 プログラム2を再生する

PGM1+2 プログラム1と2をつづけて再生する

PGM off ふつうの再生に戻る

PGM1のみ登録してあるときは、「PGM2」および「PGM1+2」表示はされません。



4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意

- 「NO Data」: プログラムが登録されていない場合に表示されます。
- 「Not Ready」: プログラムを登録したディスクが入っていない場合に表示されます。
- SOURCEボタンを押すとプログラム再生を中断します。

プログラム

プログラムを消去するには

1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示します。

2 数字ボタン4(PLAY MODE)を2秒以上押します。

3 「DEL」表示が出るまで数字ボタン2(←)を押します。



PGM2の場合は「DEL --PGM2--」

PGM2に切り換えるときは、数字ボタン5(→)を押して
「PGM2」表示にします。

4 数字ボタン6(ENTER)を2秒以上押します。

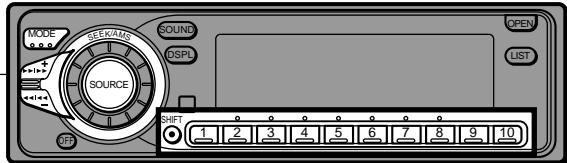
「NO Data」と表示され、指定したプログラムの曲はすべて消
えます。

5 数字ボタン4(PLAY MODE)を2秒以上押します。

6 最後に、SHIFTボタンを押します。

CD

プログラムを変える



曲を追加する



2



1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

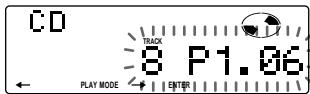
2 数字ボタン4(PLAY MODE)を2秒以上押す。

PGM2に追加するときは、数字ボタン5(→)を押して「P2」表示にします。

ディスクメモをつけたCDを再生するとパンク表示(40ページ)が出ます。その場合は、数字ボタン4(PLAY MODE)をもう一度押してください。

3 数字ボタン2(←)または数字ボタン5(→)を押して何番目に曲を挿入するかを表示する。

PGM1の6番目に追加するとき



4 SOURCEボタンを押してCDまたはMDを選ぶ。

5 MODEボタンを押して機器を選ぶ。

6 SHIFTボタンを押して数字ボタンでディスクを選ぶ。



7 SHIFTボタンを押す。



8 SEEK/AMSつまみで追加したい曲を選び再生する。



9 数字ボタン6(ENTER)を短く押す。

新しい曲が挿入され、それ以降の曲は1つずつされます。

他の曲を追加するときは、手順3~9を繰り返します。

全体の曲数が12を超えると「*Mem full*」と表示され、それ以上登録出来なくなります。

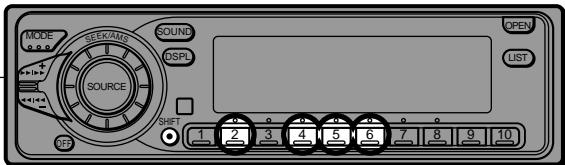


10 数字ボタン4(PLAY MODE)を2秒以上押す。



11 最後に、SHIFTボタンを押す。

プログラムを変える(つづき)



曲を削除する

SHIFT
◎

PLAY MODE
4

←
2

→
5

ENTER
6

PLAY MODE
4

SHIFT
◎

1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

2 数字ボタン4(PLAY MODE)を2秒以上押す。

PGM2の曲を消すときは、数字ボタン5(→)を押して「P2」表示にします。

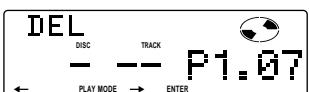
ディスクメモをつけたCDを再生するとパンク表示(40ページ)が出ます。その場合は、数字ボタン4(PLAY MODE)をもう一度押してください。

3 数字ボタン2(←)または5(→)を押して消したい曲を表示する。

7番目に登録されている曲(ディスクの5曲目)を消すとき



4 数字ボタン6(ENTER)を2秒以上押す。

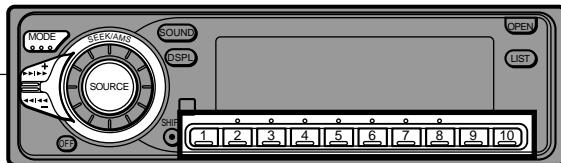


指定した曲が削除され、それ以降の曲は1つずつ繰り上がります。
他の曲を消すときは、手順2と3を繰り返します。

5 数字ボタン4(PLAY MODE)を2秒以上押す。

6 最後に、SHIFTボタンを押す。

特定の放送局を登録する



放送局を自動で登録(10ページ)したあと、空いている数字ボタンに他の放送局を追加登録できます。すでに登録してある数字ボタンも、他の放送局に登録し直すことができます。道路交通情報(AM1,620kHzまたはAM1,629kHz)を登録しておくと便利です。

CD

ラジオ



1 SOURCEボタンを押してラジオに切り換える。



2 MODEボタンを押して登録したい放送局のバンド(FMまたはAM)に切り換える。



3 SEEK/AMSつまみを上下に押して登録する放送局を受信する。



4 登録したい数字ボタンを「MEM」が表示されるまで押す。



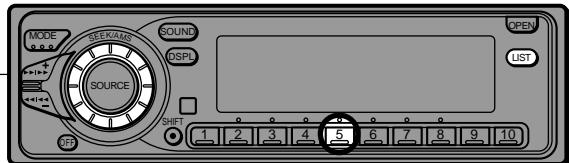
押した数字ボタンの番号が表示され、このボタンに選んだ放送局が登録されます。



ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局は消えてしまいます。

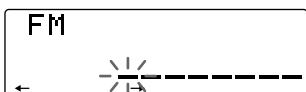
放送局に名前をつける



放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示することができます。
最大62の放送局に、8文字までの名前をアルファベットでつけられます。

1 名前をつけたい放送局を受信する。

LIST **2** LISTボタンを表示が点滅するまで押す。



3 文字を入力する。

① ダイヤルを右に回して、文字を探す。

A→B→C→...Z→0→1→2→...9→+→-→*→/→\→ →
→ . → ←



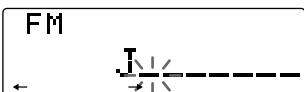
ダイヤルを左に回すと、逆順に表示されます。

文字の間をあけたいときは、「_」(下線)を入力します。



② 文字が見つかったら、数字ボタン5(→)を押す。

次の文字を入力できるようになります。



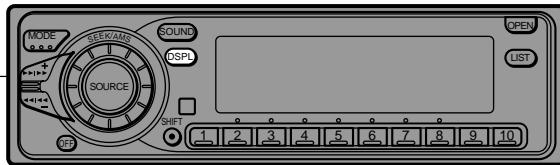
間違えたときは、数字ボタン2(←)を押して修正したい文字を点滅させて正しい文字を入れます。

③ 手順**①**と**②**を繰り返し、名前を入力する。

4 つづけて他の放送局に名前をつける場合は、その放送局を受信してから文字を入力する。



5 最後に、LISTボタンを2秒以上押す。



名前を表示するには

(DSPL) DSPLボタンを押して名前表示に切り換える。



*¹ 名前を登録していないときは「NO Name」と表示後、周波数表示になります。

ボタン操作のあと、表示切り換えが遅れることもあります。

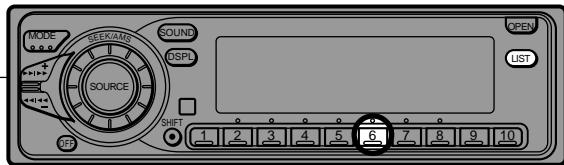
*² 周波数、放送局の名前、時計を順に繰り返し表示します。

名前を消去するには

- 1 LISTボタンを表示窓が点滅するまで押します。
- 2 DSPLボタンを2秒以上押します。
- 3 ダイヤルを回して消したい名前を表示させます。
- 4 数字ボタン6(ENTER)を名前が消えるまで押します。
- 5 LISTボタンを2秒以上押します。

「放送局に名前をつける」の手順3で、すべての文字に「_」(下線)を入力して名前を消すこともできます。

放送局を名前で探す



登録した放送局が周波数を見ながら探せます。

放送局に名前をつけておくと(28ページ) 名前が表示されます。

- 1** LISTボタンを短く押す。

受信中の放送局の名前が点滅



名前をつけていない場合は、周波数を表示します。

- 2** つづけてLISTボタンを押して聞きたい放送局の名前に切り換える。

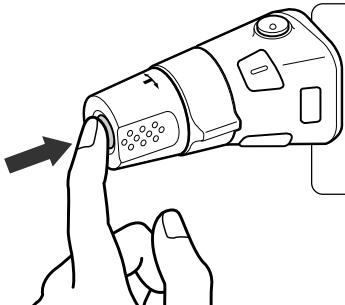
DSPLボタンを押したり、ボタンを押さないまま5秒間を過ぎると、もとの表示に戻ります。

- 3** 数字ボタン6(ENTER)を押して受信する。

ロータリーコマンダーの操作

CD/MD機器やテレビは、各機器を接続しているときだけ操作できます。

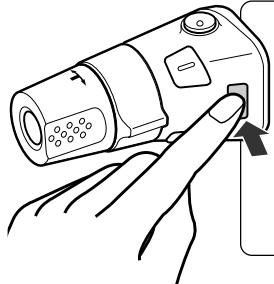
押すと (SOURCEボタン、 MODEボタン)



SOURCEボタンを押すと

ソースがTUNER CD MD TVと切り換わる

ロータリーコマンダーのSOURCEボタンを押すと本体の電源
が入ります。



MODEボタンを押すと

TUNERの時 : FM AM ...

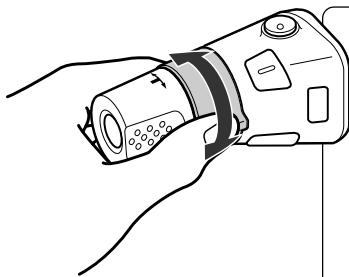
CDの時 : CD1 CD2 ...

MDの時 : MD1 MD2 ...

TVの時 : TV Video1 Video2...

と切り換わる

回すと (SEEK/AMSつまみ)



CD/MD... 短く回して離すと曲の頭出しをする

回しつづけると早く送られ、離すと再生
に戻る

ラジオ/テレビ...

短く回して離すと自動的に放送局を受信
する

回しつづけると特定の周波数を受信する

ラジオ

その他の操作

次のページへつづく

ロータリーコマンダーの操作(つづき)

押しながら回すと (PRESET/DISC つまみ)



CD/MD... 機器内のディスクを切り換える

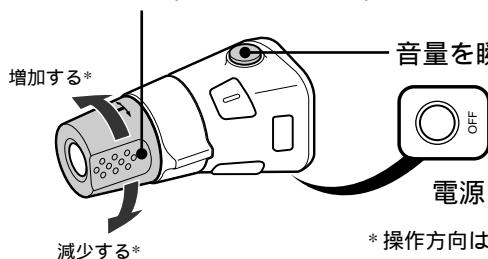
ラジオ.... プリセットした放送局を順に受信する

テレビ.... プリセットしたチャンネルを切り換える

* 操作方向は初期設定でハンドルコラムの左側に設置したときの使用を想定した方向になっています。

その他の操作

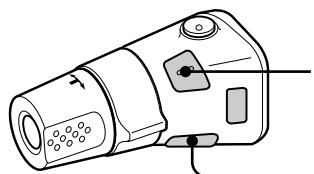
音量を調節する (VOL つまみを回す)



音量を瞬時に下げる (ATTボタンを押す)

電源を切る (OFFボタンを押す)

* 操作方向は初期設定でハンドルコラムの左側に設置したときの使用を想定した方向になっています。



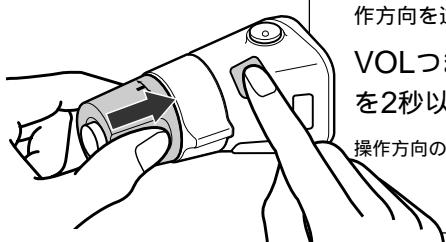
音量調節・音質選択する (SOUNDボタンを押す) サウンド

本体のボタンと同じ働きをします。(33ページ)

リストを表示する (LISTボタンを押す) リスト

本体のボタンと同じ働きをします。

つまみの操作方向を切り換える

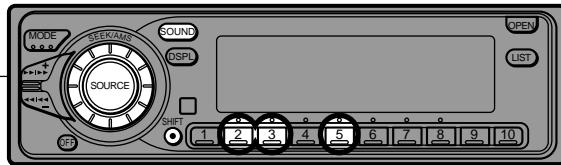


運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つまみの操作方向を逆に設定できます。

VOL つまみを押しながら、SOUNDボタンを2秒以上押す

操作方向の切り替えは、本体でもできます(34ページ)。

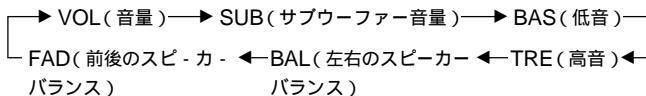
音質や音のバランスを調節する



BAS(低音)、TRE(高音)はソースごとに調節できます。

SOUND

1 SOUNDボタンを押して調節したい項目にする。



2 ダイヤルを回して調節する。

3秒以内にダイヤルを回してください。3秒を過ぎると音量調節(VOL)に戻ります。

VOL	SUB	BAS	TRE	BAL	FAD
小	小	弱まる	弱まる	左へ移動	後ろ方向へ移動
大	大	強まる	強まる	右へ移動	前方方向へ移動

サブウーファーの音質を調整するには

接続するサブウーファーの周波数特性に合わせて、不要な中、高音をカットできます。ただし、別売りのXDPを接続した場合は、この調整ができません。詳しくは、XDPの取扱説明書をご覧ください。

1 SOURCEボタンを押してソース(ラジオ、CDまたはMD)を選びます。

2 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示します。

3 数字ボタン(SET UP)を繰り返し押し、「LPF」を表示します。

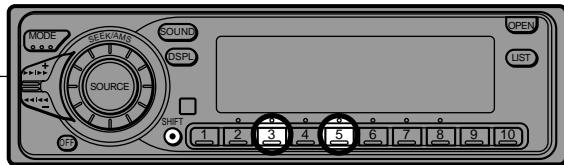


4 数字ボタン2(←)または数字ボタン5(→)を押してカットオフ周波数を選びます。

LPF 120 Hz ← LPF 80 Hz ← LPF off

5 最後に、SHIFTボタンを押します。

音や表示などの設定を変える



次の設定ができます。

- ・「Clock」 → 時計を合わせる。(9ページ)
- ・「D.Info」 → 常に時計表示をさせる。
- ・「Amber」、「Green」 → 操作ボタンなどの照明の色を変える。
- ・「Dimmer」 → 表示窓の減光を設定する。
 - 「Auto」 → 車の照明をONにすると表示が減光する。(車の照明電源に接続されている場合のみ)
 - 「on」 → 車の照明に関係なく表示が減光する。
 - 「off」 → 車の照明に関係なく表示が減光しない。
- ・「Contrast」 → 表示のコントラストを変える。
- ・「Voice」*¹ → ボイスガイドの音量を変える。
 - 「Voice 1」→「Voice 2」→「Voice 3」の順に音量が大きくなり、
「Voice off」で音が出なくなる。
- ・「Beep」 → 操作ボタンを押したときの「ピッ」という音を入・切する。
- ・「RM」 → ロータリーコマンダーのまつみの操作方向を切り換える。
 - 「norm」 → 初期設定の回転方向。
 - 「rev」 → 運転席の右側に取り付けたときの回転方向。
- ・「Loud」 → 小音量でも聞きやすいように音のバランスを補正する。
- ・「LPF」 → サブウーファーの音質を調整する。(33ページ)
- ・「A.Scrl」*² → ディスクを入れかえたときや曲が変わったときに11文字以上の曲名やディスク名を自動的にスクロールする。「off」ではスクロールしない。

*¹XDP-U50D、XDP-U50DMK2、XDP-600EQ、XDP-210EQを接続した場合は「Voice」機能は働きません。

*²「A.Scrl」は、CD TEXTディスク(本機または別売りのCD機器)またはMD(別売りのMD機器)を再生した場合のみ設定が可能になります。



1 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示する。

2 数字ボタン3(SET UP)を押して調節したい項目に切り換える。

Clock → D.Info* → Amber/Green → Dimmer → Contrast →

Voice* → Beep → RM → Loud* → LPF* → A.Scrl*

* OFF状態では表示されません。



3 数字ボタン5(→)を押して調節したい設定にする。

(例:「on」または「off」)

「Contrast」では数字ボタン5(→)を押すとコントラストが強くなり、数字ボタン2(←)を押すと弱くなります。



4 最後に、SHIFTボタンを押す。

別売りのCD機器やMD機器をつないで、CDやMD(ミニディスク)を再生できます。この章では、機器固有の機能について説明します。

機器内のCD/MDを聞く



1 SOURCEボタンを押して「CD」または「MD」表示にする。



2 MODEボタンを押して聞きたい機器に切り換える。

CDの場合

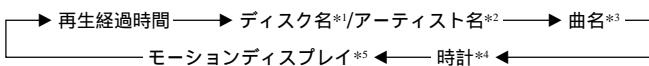
CD1(本体)→CD2(CD機器1)→CD3(CD機器2)

全てのディスクを順に再生します。

表示窓の見かた



再生中にDSPLボタンを押して表示を切り替えます。



*1「NO D.Name」: CDまたはMDにディスク名が記録されていない。

*2 CD TEXTディスクを再生した場合。

*3 「NO T.Name」: CD TEXTディスクまたはMDに曲名が記録されていない。

*4 D.Infoを「ON」にしたときは表示しません。

*5 再生経過時間、ディスク名/アーティスト名、曲名、時計を順に繰り返し表示します。

11文字以上のディスク名、曲名を再び見るにはSHIFTボタンを押した後に数字ボタン2(←)を押します。

ご注意

- CD TEXT対応のディスクで、極端に文字数の多いディスクを再生した場合、次のようなことがあります。
 - 何文字かが表示されない。
 - 自動的にスクロールされない。
- CD TEXTディスクに記録されているディスク名/アーティスト名、曲名などはアルファベットと数字のみ表示できます。
- カタカナ表示に対応していないMD機器では、カタカナのディスク名・曲名はローマ字に変換されて表示されます。また、表示されたローマ字の前後に「^」記号が付加されます。
例 BESTヒット → BEST^HITtoTO^
- 漢字・ひらがな入力されたMDを再生した場合は、「NO D.Name」「NO T.Name」と表示されます。
- 次の別売り製品では、MDのディスク名・曲名が正常に表示されません。
 - FM文字多重放送ディスプレイユニットFMX-77
 - TVチューナーXT-40Vのモニター

聞きたいディスクを選ぶ

再生中に聞きたいディスクの番号と同じ数字ボタン
1 ~ 10を押す。



リピート

繰り返し聞く

- ・「Repeat1」→ 再生中の曲を繰り返す。
- ・「Repeat2」→ 再生中のディスクを繰り返す。



1 再生中にSHIFTボタンを押して「REP」表示にする。



2 数字ボタン7(REP)を押して聞きたい設定に切り換える。

→ Repeat 1 → Repeat 2 → Repeat off

リピート演奏が始まります。



3 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生にするには、手順2で「Repeat off」を選びます。

シャッフル

曲順を変えて聞く

- ・「Shuf1」→ 再生中のディスクの曲を順不同に1回ずつ再生する。
- ・「Shuf All」→ 再生中のソースの全機器内の全ディスクの曲を順不同に再生する。



1 再生中にSHIFTボタンを押して「Shuf」表示にする。



2 数字ボタン8(SHUF)を押して聞きたい設定に切り換える。

→ Shuf 1 → Shuf All → Shuf off →

シャッフル演奏が始まります。



3 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生にするには、手順2で「Shuf off」を選びます。

CD/MD

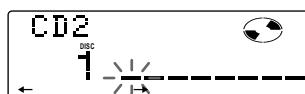
CDに名前をつける

カスタムファイル対応のCD機器の場合

CDに8文字までの名前をつけ、再生中に表示できます。つけた名前は機器本体に記憶され、CD110枚分を保存できます。カスタムファイルに対応している機器を1台つないでいれば、対応していないCD機器に入っているCDにも名前をつけられます。

LIST

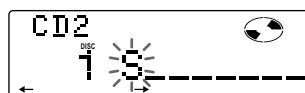
- 1** CDを再生し、LISTボタンを表示が点滅するまで押す。



- 2** 文字を入力する。

- ① ダイヤルを右に回して、文字を探す。

A→B→C→...Z→0→1→2→...9→+→-→*→/→\→ →
→ . → _



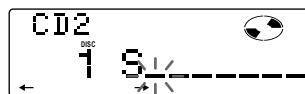
ダイヤルを左に回すと、逆順に表示されます。

文字をあけたいときは、「_」(下線)を入力します。

5

- ② 文字が見つかったら、数字ボタン5(→)を押す。

次の文字を入力できるようになります。



間違えたときは、数字ボタン2(←)を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。

- ③ 手順①と②を繰り返し、名前を入力する。

LIST

- 3** 最後に、LISTボタンを2秒以上押す。

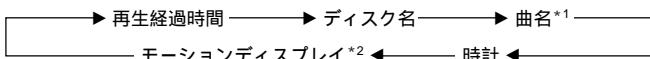
CDに名前をつける(つづき)

名前を表示するには

[DSPL] 再生中にDSPLボタンを押して、名前を表示する。



DSPLボタンを繰り返し押して、表示を切り換える。



*1 CD TEXT対応のCD機器でCD TEXTディスクを再生した場合。

*2 再生経過時間、ディスク名、曲名、時計を順に繰り返し表示します。

CD TEXTディスクにディスクメモをつけた場合はディスクメモが表示されます。ディスクメモではなく、ディスクに記録されているCD TEXT情報(ディスク名/アーティスト名/曲名など)を表示させたい場合はSHIFTボタンを押した後、数字ボタン5(→)を押します。

ディスクメモを消去するには

1 SOURCEボタンを押してCDを選びます。

2 MODEボタンを繰り返し押してCD機器を選びます。

3 LISTボタンを表示が点滅するまで押します。

4 DSPLボタンを2秒以上押します。

5 ダイヤルを回して消したい名前を表示させます。

名前は登録されたすべてが古い順に表示されます。

6 数字ボタン6(ENTER)を2秒以上押します。

他に消したい名前があるときは、手順4、5を繰り返します。

7 最後に、LISTボタンを2秒以上押します。

「CDに名前をつける」の手順2で、すべての文字に「_」(下線)を入力して名前を消すこともできます。

CDの聞きたい曲だけを選ぶ

聞きたくない曲をとばして、お気に入りの曲だけを再生します。この機能を使えるのは、ディスクメモ機能(38ページ)で名前をつけたCDだけです。

聞きたくない曲をとばすように指定する



- 1 CDを再生し、SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。



- 2 数字ボタン4(PLAY MODE)を表示が点滅するまで押す。



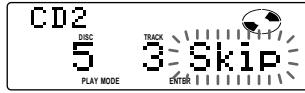
表示されない場合は、CDに名前がついていません。名前をつけてから、操作をやり直してください。



ENTER



- 3 SEEK/AMSつまみを上下に押してとばしたい曲の番号を表示して、数字ボタン6(ENTER)を押す。



「Play」に戻すときは、もう一度数字ボタン6(ENTER)を押します。

- 4 同様にして、とばす曲全部に「Skip」を設定する。



- 5 数字ボタン4(PLAY MODE)を2秒以上押す。



- 6 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意

- 「Skip」を設定できるのは24曲目までです。
- 「Skip」を全曲に設定して、ディスクを丸ごととばすことはできません。

CDの聞きたい曲だけを選ぶ(つづき)

曲をとばしながら聞く

- ・「Bank on」→「Play」と設定した曲だけ再生する。
- ・「Bank inv」→「Skip」と設定した曲だけ再生する。



1 CDを再生し、SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。



2 数字ボタン4(PLAY MODE)を繰り返し押して、Bank表示にする。



3 数字ボタン5(→)を押して再生のしかたを選ぶ。



パンク演奏が始まります。



4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順3で「Bank off」表示にします。

リスト

ディスクを名前で探す

MD機器またはカスタムファイル対応のCD機器の場合

名前を見ながら好きなディスクを選べます。CDについては、ディスクメモ機能(38ページ)で名前をつけてからこの機能を使います。



1 LISTボタンを短く押す。

再生中のディスク名が点滅



2 LISTボタンを押して聞きたいディスクの名前を表示させる。

ボタンを押さないまま5秒を過ぎると、ふつうの表示に戻ります。



3 数字ボタン6(ENTER)を押して再生する。



ご注意

- 「NO Disc」: ディスクが入っていない。
- 「*****」: 名前が入っていない。
- 「?」: 本機がディスク情報を読み込んでいない。

DSP

別売りのXDP-U50Dをつないで、プログラムソースにお好みの音場処理をすることができます。

別売りのXDP-U50DMK2/210EQをつないだ場合の操作は、XDP-U50DMK2/210EQに付属の取扱説明書をご覧ください。

サラウンド効果を選ぶ

DSP(デジタルシグナルプロセッサー)は音声信号をデジタル処理し、お好みの音場に変えることができます。

DSPには10種類のサラウンド効果が用意されています。音楽の雰囲気に合わせてサラウンド効果を選ぶと、車内で臨場感あふれる音を楽しめます。

種類	効果
HALL	コンサートホールの雰囲気
JAZZ	ジャズクラブの雰囲気
ディスコ	堅い壁と床のディスコの雰囲気
シアター	映画館の雰囲気
PARK	広々とした野外の雰囲気
LIVE	ライブハウスの雰囲気

種類	効果
オペラ	オペラハウスの雰囲気
チャーチ	残響音の多い教会の雰囲気
STADIUM	野外スタジアムでのコンサートの雰囲気
セラー	残響音の多い地下室の雰囲気
DEFEAT	通常の状態

CD/MD

DSP

1 サラウンドを設定したいソース(CD、ラジオなど)を再生する。



2 SOUNDボタンを押して「SUR」表示にする。



3 ダイヤルを回して設定したいサラウンド効果を選ぶ。

設定したサラウンド効果に切り換わります。

3秒後にふつうの表示に戻ります。

ふつうの設定に戻すには、「-DEFEAT-」表示にします。

サラウンド効果の反射音・残響音を調節する

1 サラウンドを設定したいソース(CD、ラジオなど)を再生する。

SOUND 2 SOUNDボタンを表示が点滅するまで押す。



3 ダイヤルを回して設定したいサラウンド効果を選ぶ。



4 数字ボタン5(→)を押す。



5 ダイヤルを回して好みのレベル(0~100%)にする。
数字が大きくなるほどライブ感は強くなります。

SOUND 6 最後に、SOUNDボタンを2秒以上押す。

CDごとにサラウンド効果を登録する

ディスクごとにお好みのサラウンド効果を登録できます。この機能が使えるのは、ディスクメモ機能(38ページ)でディスクに名前をついている場合です。



1 CDを再生し、LISTボタンを2秒以上押す。



2 LISTボタンを押してサラウンド効果の表示にする。



3 ダイヤルを回して、好みのサラウンド効果を選ぶ
(一覧は43ページ)。



4 LISTボタンを2秒以上押して設定する。

ご注意

カスタムファイルに対応していないCD/MD機器を接続したときは、接続した機器のディスク情報は登録できません。

登録したサラウンド効果で再生するには

1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示します。

2 数字ボタン4(PLAY MODE)を短く押してD.File表示にします。

3 数字ボタン5(→)を押して「D.File on」表示にします。

5秒後にふつうの表示に戻ります。

ふつうの再生に戻るには、手順2で「D.File off」を選びます。

登録したサラウンド効果を変えるには

登録の手順1~4を行います。

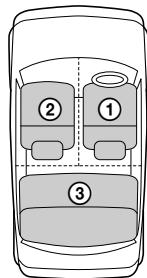
登録したサラウンド効果を消すには

登録の手順3で「-DEFEAT-」を選びます。

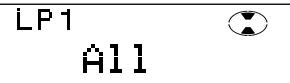
リスニングポジションを選ぶ

聞き手の位置(リスニングポジション)に合わせて、各スピーカーからの音の到達時間を調節し、快適で自然な音像定位を可能にします。座っている位置が音場の中心になるよう5つのリスニングポジションから選べます。

表示	種類	音場の中心
LP1	All	通常の状態 (①、②、③)
LP2	Front	前方(①、②)
LP3	Front R	前方右(①)
LP4	Front L	前方左(②)
LP5	Rear	後方(③)



1 SOUNDボタンを短く押して「LP1」表示にする。



2 ダイヤルを回してリスニングポジションを選ぶ(上の一覧を参照)。

回すたびに切り換わります。

3秒後にふつうの表示に戻ります。

リスニングポジションを選ぶ(つづき)

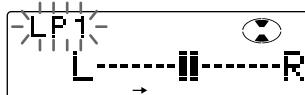
リスニングポジションを微調節する

 1 SOUNDボタンを2秒以上押す。

 2 SOUNDボタンを短く押してリスニングポジションの表示にする。



 3 数字ボタン5(→)を押す。



4 ダイヤルを回して音場の左右の中心を設定する。



 5 数字ボタン5(→)を押す。



6 ダイヤルを回して音場の前後の中心を設定する。



 7 最後に、SOUNDボタンを2秒以上押す。

DSP

前後のスピーカーバランスを調節する

本機ではサラウンド効果を選んでいるときとふつうの状態(DEFEAT)それぞれでスピーカーバランスを調節できます。

サラウンド効果を選ぶとリスニングポジションの効果を高めるために、リアスピーカーの音量が自動的に小さくなります。リアスピーカーの音量を上げたいときには「FAD」(フェーダー)を調節してください。

- SOUND** 1 設定したいサラウンド効果を選ぶ。(43ページ)
- 2 SOUNDボタンを押して「FAD」表示にする。
- 3 ダイヤルを回してフェーダーを設定する。



3秒後にふつうの表示に戻ります。

サブウーファーの音量を調整する

- 1 音量を設定したいソース(CD、ラジオなど)を再生する。
- SOUND** 2 SOUNDボタンを押して「SUB」表示にする。
- 3 ダイヤルを回して音量を調整する。



3秒後にふつうの表示に戻ります。

音量を「Sub ATT」と表示されるまで下げるとき、サブウーファーのカットオフ周波数は無効になります。

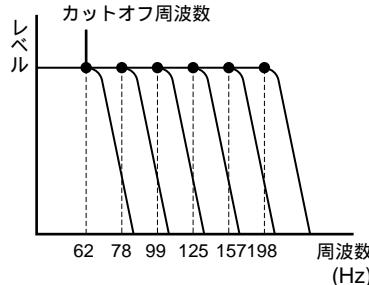
サブウーファーの音量を調整する(つづき)

サブウーファーのカットオフ周波数を選ぶ

サブウーファーから出力される音の

うち、中高域の周波数を除きます

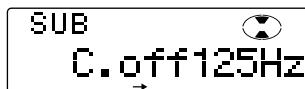
(カットオフ)。サブウーファーは低い周波数のみを出力し、明確な音場を作り出します。つないであるサブウーファーの周波数特性に合わせて、6種類のカットオフ周波数の中から選びます。たとえば、62Hzを選ぶと、62Hz以上の音が除かれます。



- 1 カットオフ周波数を設定したいソース(CD、ラジオなど)を再生する。

2 SOUNDボタンを2秒以上押す。

3 SOUNDボタンを押して「SUB」表示にする。



数字ボタン5(→)を押すと、SUB VOLUME調整モードとカットオフ周波数調整モードが切り換わります。



- 4 ダイヤルを回してカットオフ周波数を選ぶ。

62Hz → 78Hz → 99Hz → 125Hz* → 157Hz → 198Hz

* : 初期値

5 最後に、SOUNDボタンを2秒以上押す。

低音・高音の音量を調節する

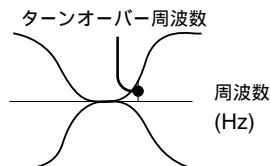
- 1 音質を設定したいソース(CD、ラジオなど)を再生する。
- 2 SOUNDボタンを押して「BAS」(低音)または「TRE」(高音)表示にする。

- 3 ダイヤルを回して音量を調整する。

3秒後にふつうの表示に戻ります。

ターンオーバー周波数を選ぶ

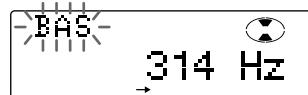
低音または高音を変化させたときの変化開始点の周波数のことをターンオーバー周波数といいます。ターンオーバー周波数は低音と高音で4種類ずつ用意されています。



- 1 ターンオーバー周波数を設定したいソース(CD、ラジオなど)を再生する。
- 2 SOUNDボタンを2秒以上押す。
- 3 SOUNDボタンを押して「BAS」(低音)または「TRE」(高音)表示にする。



BAS(低音)設定の表示



TRE(高音)設定の表示



数字ボタン5(→)を押すと、BAS/TREの周波数調整モードとボリューム調整モードが切り換わります。

- 4 ダイヤルを回してカットオフ周波数を選ぶ。

- 5 最後に、SOUNDボタンを2秒以上押す。

Bass(低音): 198Hz → 250Hz → 314Hz* → 396Hz

Tre(高音): 2.0kHz → 3.1kHz* → 4.0kHz → 5.0kHz

* : 初期値

ラストサウンドメモリー

前回と同じサラウンド効果で聞く

最後に選んだサラウンド効果をソースごとに記憶させることができます。途中でソースを切り換えたり電源を切ったりしても、前にそのソースを聞いたときと同じサラウンド効果およびイコライザーカーブで聞くことができます。

ご注意

TVチューナーとTVモニターまたはFM文字多重放送受信ユニットを接続した場合、TVモニターまたはFM多重用モニターに「LSM」(ラストサウンドメモリー)と表示されます。

SET UP (セットアップ)

ラインアウトのレベルを選ぶ

音が割れて聞きづらいときにラインアウトのレベルを切り替えます。



1 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示する。

2 数字ボタン3(SET UP)を押して「L.out」表示にする。

3 数字ボタン5(→)を押して設定を選ぶ(-10dBまたは-16dB)。

4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ご注意

- 接続するアンプ(別売り)によって、ラインアウトの切り替えができない機種があります。
- 音が歪むときは、手順3で-16dBに設定してください。

DSP

テレビ・ビデオ

テレビやビデオはもちろん、チェンジャーに入っているCDやMDのタイトルをテレビ画面で見ることもできます。

テレビを見るには別売りのチューナーとモニターを、ビデオを見るには別売りのビデオデッキとモニターをつないでください。

テレビを見る

TVチューナーユニットとTVモニターの取扱説明書に従って接続してください。あらかじめ、受信できる放送局を登録すると、簡単にチャンネルを選べます。

チャンネルを自動で登録する

最大10局まで登録できます。



1 SOURCEボタンを押してテレビに切り換える。



2 MODEボタンを押して「TV」表示にする。



3 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。



4 数字ボタン4(PLAY MODE)を繰り返し押して、「Auto mem」を表示する。

TVモニターには「B.T.M」や「選局中」などと表示されます。



5 数字ボタン5(→)を押す。

受信できる放送局を探しあげ、受信状態の良い局が周波数の順に数字ボタンに登録されます。



6 最後に、SHIFTボタンを押す。

テレビを見る(つづき)

その他の操作

チャンネルを選ぶには	数字ボタン1~10を押す。
強制的に モノラル受信するには	「ステレオ放送が聞きにくいとき」(17ページ)と同じ手順を行 う(ステレオ放送受信中)
副音声を聞くには	SHIFTボタンを押してから数字ボタン4(PLAY MODE)を押 して「Main」表示にする。それから数字ボタン5(→)を押して 「Sub」表示にする(音声多重放送受信中)
特定のチャンネルを 登録するには	「特定の放送局を登録する」(27ページ)と同じ手順を行う(手順 1では、FM/AMの代わりにTVを選びます)
テレビ局に 名前をつけるには	「放送局に名前をつける」(28ページ)と同じ手順を行う(手順1 では、FM/AMの代わりにTVを選びます)

ビデオを見る

ビデオデッキとTVモニターの取扱説明書に従って接続してください。



1 SOURCEボタンを押してテレビに切り換える。



2 MODEボタンを押して「Video 1」を選ぶ。

ビデオをTVモニターのVIDEO2端子につないでいるときは、
「Video 2」表示に切り替えます。

3 ビデオデッキのボタンでビデオを再生する。

テレビ・ビデオ

ラジオ局・テレビ局の一覧を見る

登録したテレビチャンネルやラジオ局をTV画面で一覧できます。

LIST ラジオまたはテレビを受信中にLISTボタンを短く押す。



現在受信中の放送局は黄色の帯で表示されます。一覧が出ている間は、テレビ画面は映りません。

表示を消すには、ラジオ受信中はもう一度LISTボタンを押します。
テレビ受信中は、自動的にテレビ画面に戻ります。

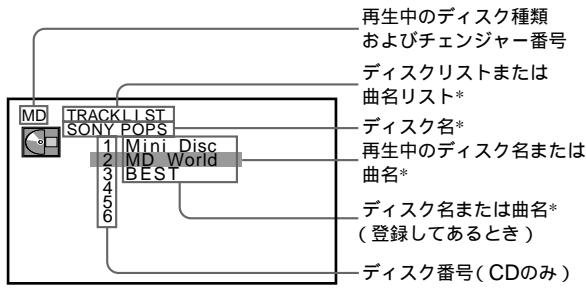
ご注意

TVチューナーXT-40Vをお使いになる場合、TVモニターに表示される内容は上記と異なります。

CD/MDの情報を見る

ディスクの名前をTV画面で一覧できます。CDについては、ディスクメモ機能(38ページ)で名前をつけてからこの機能をお使いください。

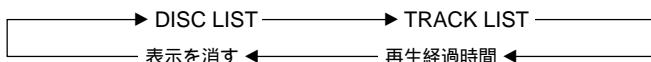
(LIST) 再生中にLISTボタンを短く押す。



現在再生中のCD/MDは黄色で表示されます。一覧が出ている間は、テレビ画面は映りません。

表示を消すには、CD再生中はもう一度LISTボタンを押します。
MD再生中はLISTボタンを繰り返し押し表示を消します。

MD再生中はLISTボタンを押すたびに以下のように切り換わります。



ご注意

- TVチューナーXT-40Vをお使いになる場合は
 - MDのカタカナのディスク名、曲名および一部の記号は表示されません。
 - 名前はすべて大文字で表示されます。
- CD TEXTの内容は表示されません。

テレビ・ビデオ

サイマルプレイ

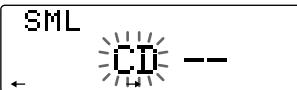
テレビやビデオを見ながらCD/MDの音を聞く



1 SOURCEボタンを2秒以上押す。



2 数字ボタン2(←)を押す。



3 SOURCEボタンを押して「CD」または「MD」表示にする。



4 数字ボタン5(→)を押す。



5 SOURCEボタンを押して「TV」または「AUX」(ビデオ)表示にする。



6 SOURCEボタンを2秒以上押す。

サイマルプレイが始まります。

現在聞いているTVまたはビデオの音声をCDまたはMDの音声に切り換える場合にも同じ手順を行いますが、その場合は手順2で数字ボタン5(→)を、手順4で数字ボタン2(←)を押します。

サイマルプレイをやめるには

CDまたはMDを止めるには、手順3で「—」を選びます。

TVまたはビデオを止めるには、手順5で「—」を選びます。

ご注意

- ラジオを聞きながらのサイマルプレイはできません。
- サイマルプレイ中は、放送局やCD/MDの一覧は出ません。

携帯電話

別売りのPDCハンズフリーユニットXCH-1000を接続すると、携帯電話を手に持たずに通話することができます。相手の音声はカーオーディオのスピーカーから聞こえ、こちらの音声はサンバイザーマイクを通して相手に伝えられます。

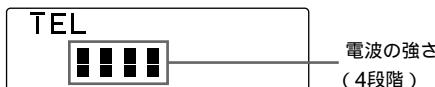
電話をかける



1 SOURCEボタンを押して「TEL」表示にする。



2 ダイヤルを回して携帯電話に登録されている電話番号や相手の名前を選ぶ。



- ・本機に登録した番号にかけるには
数字ボタン(1~10)を押す。登録のしかたについては59ページを参照してください。
- ・発信/着信履歴にある番号にかけるには
SEEK/AMSつまみで履歴にある番号を探す。発信/着信履歴の表示のしかたについては59ページを参照してください。



3 MODEボタンを押す。

数字ボタンでダイヤルするには

上記の手順2を次のように行います。

- ① MODEボタンを押して「Call」表示にする。
- ② 数字ボタン(1~10)を押して番号を入力する。

数秒後に自動発信しますので、上記の手順3は不要です。

テレビ・ビデオ

携帯電話

電話を受ける

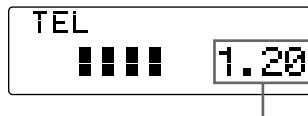
1 スピーカーと本体から着信音がなり、自動的に「TEL」に切り変わる。



電話機の設定により相手の番号を表示します。



2 MODEボタンを押す。



電話がつながると、通話時間が表示されます。

ご注意

表示される通話時間は厳密ではありません。目安としてください。

電話を受けずに元のソースに戻るには

手順1の次にSOURCEボタンを押します。

その他の操作

通話が終わったら



元のソースに戻るときは、SOURCEボタンを押す。



続けて電話するときは、MODEボタンを押す。

通話相手が電話を切ったときは、自動的に元のソースに戻ります。

受話器の音量を調節するには



通話中は本機のダイヤルが音量の調節になります。ダイヤルを回し、希望の音量に調節してください。

本機に電話番号を登録するには



1 SEEK/AMSつまみ、またはダイヤルで希望の電話番号を表示させる。



2 登録させたい数字ボタンを2秒以上押す。

発信・着信履歴を表示するには



SEEK/AMSつまみで発信・着信履歴をそれぞれ最大10件まで呼び出します。

ご注意

- 次の場合、通話が途切れます。
 - SOURCEボタンやMODEボタンを押したとき
 - サービスエリア外や電波が届かない所へ移動したとき
- 携帯電話で通話する際は、ハンズフリーユニットから外さないとご使用になれません。
- 携帯電話をハンズフリーユニットから外すと、発信/着信履歴が消去されます。

携帯電話

その他の設定

次の設定ができます。

- ・「RCV」→電話を受けられないようにする(着信拒否設定)
- ・「History」→発信・着信履歴を消去する(履歴クリア)
- ・「Alarm」→本機の着信音を消去する



1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。



2 数字ボタン4(PLAY MODE)を繰り返し押し設定したい項目に切り換える。

RCV → History → Alarm



3 希望の設定にする。

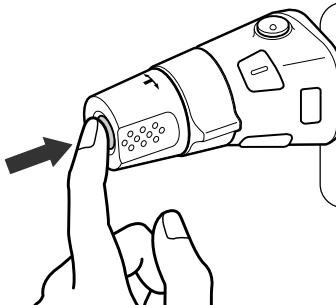


- ・「RCV」→数字ボタン5(→)を押して「RCV ON」または「RCV OFF」を選ぶ。
- ・「Alarm」→数字ボタン5(→)を押して「Alarm」または「NO Alarm」を選ぶ。
- ・「History」→数字ボタン6(ENTER)を2秒以上押して「Clear」を表示する。

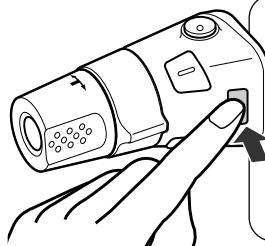
4 最後に、SHIFTボタンを押す。

ロータリーコマンダーでの操作

押すと (SOURCEボタン、MODEボタン)



SOURCEボタンを押すと
ソースが切り換わる。
繰り返しSOURCEボタンを押して「TEL」
を選ぶ。



MODEボタンを押すと
電話をかける時：ダイヤルをはじめる。
電話を受ける時：着信する。
本機の数字ボタンでかけるときは、MODEボタンを
押してから、数字ボタンを押す。

回すと (ボリューム VOLつまみ、SEEK/AMSつまみ)



VOLつまみを回すと
通話前：携帯電話に登録されている電話番
号を呼び出す。
通話中：スピーカーの音量を調節する。



SEEK/AMSつまみを回すと
発信・着信履歴をそれぞれ最大10件まで呼
び出す。

システム接続をするときのご注意

XDP-U50DMk2と MDX-700EQをシステム アップ時のサブウーファー¹ カットオフ周波数について

本機とグラフィックイコライザー付きユニットMDX-700EQおよびDSPコントロールユニットXDP-U50DMk2を接続したシステムでお使いのとき、接続方法によってはサブウーファーのカットオフ周波数はMDX-700EQで設定されている3種類のみになります。この場合は、MDX-700EQ側の3種類の中から設定するか、または接続方法をお確かめください。接続方法についてくわしくはXDP-U50DMk2に付属の「取り付けと接続」説明書をご覧ください。

ボイスガイドの機能について

次の別売り製品を接続すると、ボイスガイド機能は働きません。

- DSPコントロールユニット
XDP-U50D
- DSPコントロールユニット
XDP-U50DMk2
- グラフィックイコライザー付DSP
XDP-600EQ、XDP-210EQ

グラフィックイコライザー付 きユニットMDX-700EQを システムアップ時のユーザー² プリセットメモリーについて

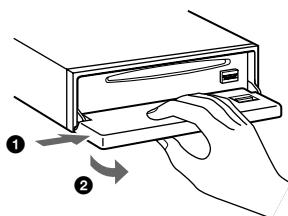
ユーザーがプリセットのMEMORY1、2、3にはそれぞれ1種類のイコライザーカーブを登録することができます。1つのメモリー番号に2種類以上登録すると、以前に登録したイコライザーカーブは消えてしまいます。

使用上のご注意

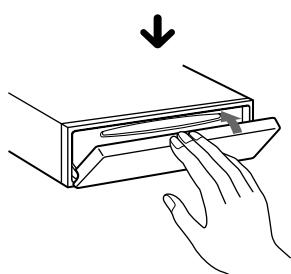
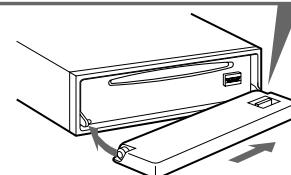
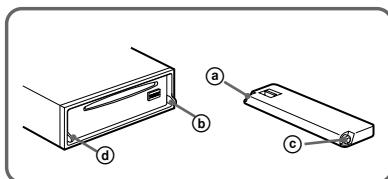
本機の取り扱い

フロントパネルについて

取り外すときは必ず、OFFボタンを押し、電源を切ってから、OPENボタンを押してフロントパネルを開けてください。フロントパネルを右に押しながら手前に引くと外れます。



取り付けるときは、フロントパネルの④部分と本体の⑤部分を合わせて、フロントパネルを押し込み、フロントパネルの⑥部分と本体の⑦部分を合わせて取り付けます。

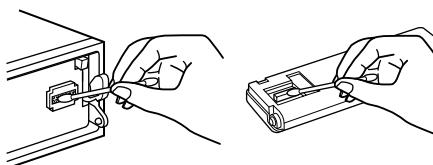


ご注意

- 取り外したフロントパネルは直射日光の当たる高温のところ、湿度の高いところなどには置かないでください。
- フロントパネルの表示窓や挿入口の上部を押したり、強い力をあたえないでください。

コネクターのお手入れについて

フロントパネルおよび本機のコネクターが汚れていると動作不良の原因になります。ときどきクリーニングしてください。



本機側のコネクターを変形させないように注意してください。

液晶表示について

極端な高温または低温のところでは、表示が見づらくなることがあります。故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、通常表示にもどります。

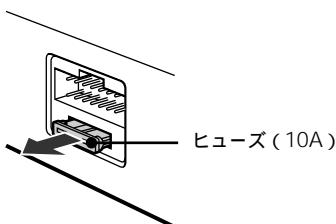
使用上のご注意(つづき)

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、CDプレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままだと、レーザーによる読み取りができず、CDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、CDを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申しつけください。

コンパクトディスクについて

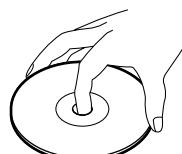
- 直射日光下で駐車すると車内はかなり高温になりますので、本機の熱を冷ましてからご使用ください。
- 本機に電気が供給されないときは、まず正しく接続されているか調べてください。接続に間違いがなければヒューズを調べてください。
- 2スピーカーシステムのスピーカーから音が出ないときは、フェーダーを中央のポジションにセットしてください。
- パワーアンテナを装備している車の場合、本機が作動している間自動的にアンテナを伸ばします。

本機に関するご質問またはトラブルで本書に説明されていない場合は、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

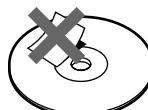
ディスクの取扱いについて

CDの汚れやゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。

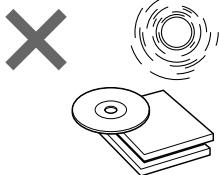
記録面に触れないように持つ。



ディスクに紙などを貼らない。

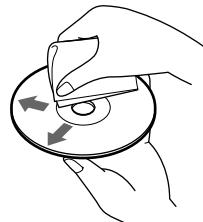


直射日光やヒーターの温風噴き出し口や、直射日光下で窓を閉め切った車内はかなり高温になりますので、絶対に放置しないでください。



再生する前に、再生面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向にふき取ってください。

ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。静電気防止剤なども、逆にCDを傷めることができますので、使用しないでください。



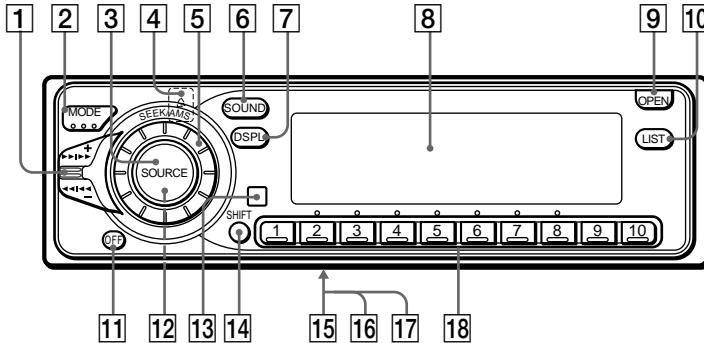
8cmCDを再生するときは

- CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとのあるものはお使いにならないでください。そのまま本機で使用すると取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- 本機ではCD(円形ディスク)のみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星形やハート型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

各部のなまえ

本体

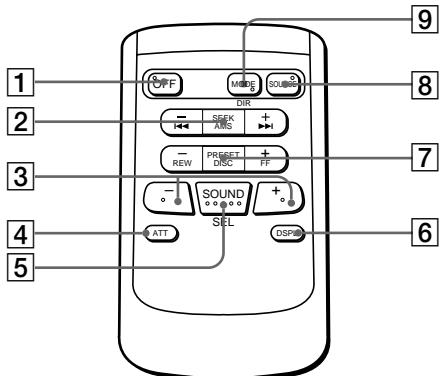
内のページにくわしい説明があります。



- ① SEEK/AMS (頭出し/ラジオ選局)
つまみ 13 17 21 25 27 40 57 59
モード
② MODEボタン
10 16 20 24 27 35 39 52 53 57 58 59
ソース
③ SOURCE(チューナー/CD/MD/
映像切り換え)ボタン
10 12 16 20 24 27 33 35 39 52 53 56 57 58 59
イジェクト
④ ▲(CD取り出し)ボタン 13
ボリューム/サブ-/バス-/トレブル/バランスフェーダー
⑤ VOL/SUB/BAS/TRE/BAL/FAD
(音量調節)ダイヤル
9 12 28 33 38 39 43 44 45 46 47 48 49 50 57 59
サウンド
⑥ SOUND(音質調整)ボタン
33 43 44 46 47 48 49 50
ディスプレイ
⑦ DSP(表示切り換え)ボタン
14 17 29 35 39
⑧ 表示窓
オープン
⑨ OPENボタン 11 13
リスト
⑩ LISTボタン
CD/MD 38 39 42 56
DSP 45
テレビ 54 55
ラジオ 28 29 30 54

- ⑪ OFF(電源切り)ボタン 13
⑫ リセットボタン 7
⑬ リモコン受光部
シフト
⑭ SHIFTボタン
PLAY MODE 10 16 17 18 20 21 22 23 24 25 26 40 41
45 52 60
REP 19 36
SET UP 9 33 34 51
SHUF 19 37
⑮ パワーセレクツスイッチ(底面)
くわしくは「取り付けと接続」をご覧ください。
⑯ 音声出力/入力切り替えスイッチ(底面)
くわしくは「取り付けと接続」をご覧ください。
⑰ FMダイバーシティアンテナ入力切り換
えスイッチ(底面)
くわしくは「取り付けと接続」をご覧ください。
⑱ 数字ボタン1~10
CD/MD 20 24 36
テレビ 53
ラジオ 16 27
携帯電話 57 59

ワイヤレスリモート コマンダーRM-X47 (別売り)



- | | |
|-----------------------------------|---|
| [1] OFF(電源切り)ボタン | [6] DSPL(表示切り換え)ボタン |
| [2] SEEK/AMS(頭出し/ラジオ選局)ボタ
ン | [7] PRESET/DISCボタン |
| [3] + − ボタン | ラジオ... 登録した局を選局 |
| [4] ATT(音切り)ボタン | CD/MD... ディスク交換 |
| [5] SOUND/SEL(音量調節/音質調整)ボ
タン | [8] SOURCE(FM/AM/CD/MD/映像切り
換え)ボタン |
| | [9] MODE/DIRボタン |

ご注意

本機側面のパワーセレクトスイッチを❶にしている場合は、本機の電源が入っていないとワイヤレスリモートコマンダーで本機を操作することはできません。このときは一度本体でラジオを受信するなどしてから操作してください。

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">音量を上げてください。ATT機能を解除してください。スピーカー接続時：フェーダーの設定が正しくない。 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。
電源OFF時に時計表示にならない。	<ul style="list-style-type: none">パワーセレクトスイッチが④になっている。 パワーセレクトスイッチを④にしてからリセットボタンを押してください(アクセサリー位置のある車のみ)。リセットボタンを押した(パワーセレクトスイッチが④のときのみ) TUNERボタンなどで電源を入れてください。デモモードに入っている。 SOURCEボタンを押してからOFFボタンを押してください。
共通	
ラウドネスの効果がかからない。	<p>大音量になっている。音量を下げてください。 ラウドネス効果は小音量時だけかかります。</p>
メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none">リセットボタンを押した。動作用電源コードまたはバッテリーを外した。電源コードが正しく接続されていない。
ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	「ピッ」という音が出ない設定になっている(34ページ)。
音がとぶ。音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none">CDが汚れている。ディスクをクリーニングしてください。
CD 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none">ディスクが傷ついている。
ディスク名・曲名が表示されない。	別売りのTVチューナーとTVモニターを接続したときLIST表示はTVモニターのみに表示されます(54ページ)。
ラジオ/テレビ	
受信できない。 雑音しか出ない。	<ul style="list-style-type: none">カーアンテナとの接続を確認してください。オートアンテナが上がってない。パワー・アンテナコントロールリードをANT/REM(青)コードに接続してください。周波数を確認してください。「If Auto」が「Wide」になっている。 →「Narrow」にしてください(16ページ)。
SEEKつまみを押し上げ/下げしても聞きたい放送局で止まらない。	<ul style="list-style-type: none">「Local on」と表示されている場合は電波の強い周波数しか受信しません。表示を消してください(17ページ)。電波が弱くて自動選局できない。SEEK/AMSつまみを押し上げ/下げづづけて周波数を合わせてください。

症状	原因・処置
MD	<p>MDが入らない。 MDを入れてもすぐに出でくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> すでに別のMDが入っている。 MDを誤った向きに入れようとしている。 レーベル面を上にして矢印の向きに入れてください。
	<p>音がとぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本機の取り付け角度が60°を超えている。 本機がしっかりしていない所に取り付けてある。 ごくまれに録音機と本機との互換性により音がとぶことがあります。この場合、録音機のメーカー名と機種名をご確認のうえ、お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。
DSP	<p>ディスク名・曲名がカタカナ表示されない。</p> <ul style="list-style-type: none"> MD機器がカタカナ表示に対応していない(35ページ)。 一部の機種の録音機で編集されたMDではカタカナ表示されないことがあります。 <p>ディスク名・曲名が表示されない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 別売りのTVチューナーとTVモニターを接続したときLIST表示はTVモニターのみに表示されます(54ページ)。 <p>音が出ない。 音が小さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> XDP-U50DまたはXDP-U50DMK2(別売り)を接続した場合は、リスニングポジションの設定の効果を高めるためにリアスピーカーの音量が自動的に小さくなります。 DSP機能「入/切」それぞれの状態の前後スピーカーバランス設定をしてください。
TEL	<p>通話相手の音声が聞こえない。</p> <ul style="list-style-type: none"> スピーカーの音量が「0」または最小になっている。 →マスターユニットのVOLダイヤルで音量を調整してください。 走行ノイズなど、周囲の雑音が大きいとき、マイクより音声入力があったものと認識して通話相手の音声を閉じてしまうことがあります。 <p>ダイヤルしたが話中音がしてつながらない</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話番号が間違っていませんか。(市外局番を忘れていませんか。) 通話相手が圏外にいる。 電波の弱いところにいる。 →サービスエリア内でダイヤルしてください。 アンテナを十分に伸ばしていますか。
	<p>MODEボタンを押しても発信できない</p> <ul style="list-style-type: none"> 携帯電話の発信制限やメモリ制限がかかっていないませんか。 携帯電話の簡易ダイヤルロックがかかっていないませんか。

故障かな?(つづき)

症状	原因・処置
TEL	携帯電話機に登録されたメモ リが呼び出せない
	電話がかかってこない
	電話がかかるない
	「NO phone」と表示され る。

CD/MDのエラー表示

CDやMDが誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
Blank*	MDに何も録音されていない。	他のMDに入れ換える。
Error	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
HighTemp	MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのMDに入れ換える。
	周囲の温度が50°C以上あり再生できない。	車内の温度が下がるのを待つ。
NO Disc	機器にディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NG Discs	CD/MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのCD/MDに入れ換える。
NO Mag	ディスクマガジンが機器に入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、機器を入れる。
Not Ready	MD機器MDX-40のフロントパネルが開いている。	フロントパネルを閉じる。(MDX-40のみ)
PushReset	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

* ディスクマガジン内でエラーを起こしたディスク番号が表示されます。

保証書とアフターサービス

保証書(別に添付)

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口(別紙)にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

主な仕様

CDプレーヤー部		付属品	ロータリーコマンダーRM-X4S (1)
SN比	99dB	取り付け/接続部品(一式)	
周波数特性	10~20,000Hz	取扱説明書(一式)	
ワウフラッター	測定限界以下	ソニーご相談窓口のご案内(1)	
チューナー部		保証書(1)	
FM		ワイヤレスリモコンRM-X47	
受信周波数	76~90MHz(テレビ1~3ch)	CDチェンジャー	CDX-805(10枚)
中間周波数	10.7MHz		CDX-715(10枚)
実用感度	8dBf		CDX-T605(6枚)
周波数特性	30~15,000Hz		CDX-T602(6枚)
実効選択性	75dB(400kHz)	MDチェンジャー	MDX-62など
SN比	65dB(ステレオ)		スペアナ付きCDプレーヤー
	68dB(モノラル)		CSX-310
ひずみ率(1kHz)	0.7%(ステレオ)		モービルカラーTV
	0.4%(モノラル)		XTL-770W
チャンネルセパレーション	35dB以上(1kHz)		ソースセレクター
AM			XA-C30
受信周波数	522~1,629kHz		EQ付きMDプレーヤー
中間周波数	10.71MHz/450kHz		MDX-700EQ
実用感度	30μV		FM多重ユニット
アンプ部			FMX-88
適合インピーダンス	4~8		PDCハンズフリーユニット
最大出力	45W×4(4 負荷1kHz)		XCH-1000
電源部、その他			バスケーブル(RCAピンコード付属)
電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)		RC-61(1m) RC-62(2m)
出力端子	フロント/リヤ音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール サブウーファー/音声出力端子		RCAピンコード RC-63(1m) RC-64(2m) RC-65(5m)
入力端子	バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子 ATT入力端子 イルミコントロール入力端子	本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがあります。ご了承ください。	
本体寸法	約178×50×180mm (幅/高さ/奥行き)		
取付寸法	約178×50×160mm (幅/高さ/奥行き)		
質量	約1.3kg		

索引

あ行

イントロ 18
エラー表示 70
音質
　サラウンド 43~45
　残響音 44
　反射音 44
音量 12、32

か行

カスタムファイル 38~41
カットオフ周波数 48
携帯電話 57~61
高音 33

さ行

サイマルプレイ 56
サブウーファー 33、48
サラウンド 43~45
　DSPカスタムファイル
　　45
CD/MG 35
　名前で探す 42
　名前をつける 38
　名前を表示する 39
シャッフル 19、37
ステレオ放送 17
スピーカーバランス 33

SET UP

Amber 34
A.Scrl 34
Beep 34
Clock 9、34
Contrast 34
Dimmer 34
D.Info 34
Green 34
Loud 34
LPF 34
RM 34
Voice 34

た行

ターンオーバー周波数 50
DSP 43
DSPカスタムファイル 45
低音 33
ディスクメモ 38
デジタルシグナル
　プロセッサー 43
テレビ 52
　チャンネルの一覧 54
　名前をつける 53
　登録 52
電源 13
登録
　自動登録 10、52
　テレビチャンネル 53
　ラジオ局 10、27
道路交通情報 27
時計 9
トレブル 33

な行

名前
　消去する 29、39
　つける 28、38
　表示する 14、15、17、
　29、35、39

は行

バス 33
バランス 33
バンク 40、41
ビデオ 52
ヒューズ 64
表示窓
　CD/MG 14、17、35、39
　ラジオ 29
フェーダー 33
プログラムメモリー 20~26
ベストチューニングメモリー
　10
ボイスガイド 6
ボタンの音 34

ま、や行

モノラルモード 17

ら、わ行

ラジオ 10、16、27
自動選局 17
名前で探す 30
名前をつける 28
名前を表示する 29
登録 27
ラストサウンドメモリー 51
リスニングポジション 46
リセット 7
リピート 19、36
リモコン
　ロータリーコマンダー
　　31、32、61
ワイヤレスリモート
　コマンダー 67

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111



* | - 3 - 8 6 4 - 4 3 8 - 0 1 * (2)